

ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ

ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド

(米ドル建／毎月分配型)－通貨ドラゴン－

(米ドル・コース)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

アジアのハイ・イールド債券への投資による信託財産の着実な成長と安定した収益を目指します。

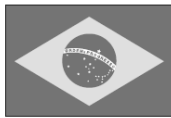
ファンドの特色

1. アジアのハイ・イールド債券に投資します。
- ◆ビジネスの大半をアジアで営んでいるとフィデリティが判断する企業が発行する債券のうち、BB 格相当以下^(※)の格付を付与されている債券（ハイ・イールド債券）に投資を行います。
- (※) ムーディーズ（Moody's）により Ba1 以下、S&P グローバル・レーティング（S&P）により BB+以下、フィッチ（Fitch）により BB+以下。格付を付与されていない債券を含みます。
- ◆フィデリティ^(※)が、アジアのハイ・イールド債券に投資を行います。
- (※) FIL・インベストメント・マネジメント（香港）・リミテッドが、投資対象ファンドの投資運用会社です。
2. 以下の3つのコースがあります。
- ※ファンドの基準価額は、すべてのコースについて、米ドル建てで表示されます。
- ◆ブラジル・リアル・ヘッジコースおよび豪ドル・ヘッジコースについて、為替取引が行われます。

米ドル・コース
為替取引を行いません。



ブラジル・リアル・ヘッジコース
米ドル売り／ブラジル・リアル買い



豪ドル・ヘッジコース
米ドル売り／豪ドル買い



- ◆「米ドル・コース」を除き、為替取引の結果として、プレミアム（金利差相当分の収益）が期待され、またはコスト（金利差相当分の費用）の発生が予想されます。

プレミアムまたはコスト
(金利差相当分の収益またはコスト)

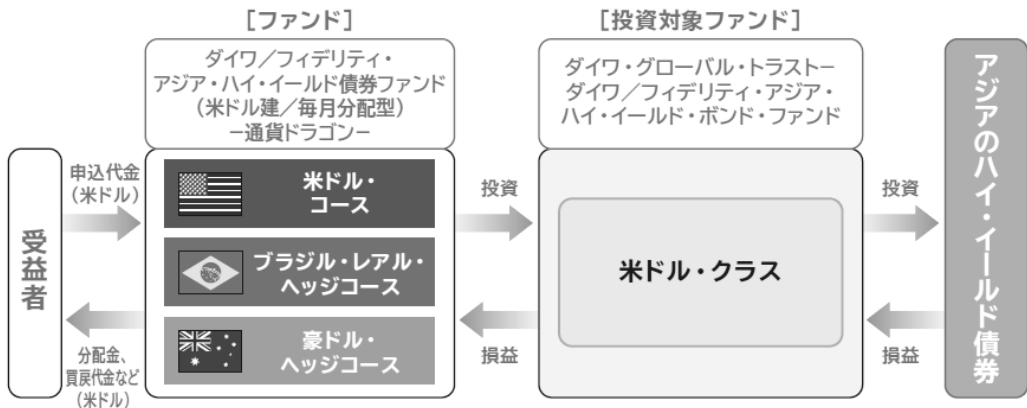
÷

取引対象通貨の短期金利
(◆ブラジル・リアル ◆豪ドル)

－

米ドルの
短期金利

- ◆「米ドル・コース」を除き、取引対象通貨の対米ドルレートの上昇（米ドル安）／下落（米ドル高）により、為替差益／為替差損が生じることがあります。
3. 毎月3日（休業日の場合、翌営業日）に、分配方針に従い、分配を行います。
4. 投資対象ファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券に間接的に投資を行います。



※ファンドの受益証券の基準価額は、すべてのコースについて、米ドル建てにより表示されます。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、分配方針に基づいて管理会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和アセットマネジメント フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00） HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ
ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド
(米ドル建／毎月分配型)－通貨ドラゴン－
(米ドル・コース)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

●ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「債券の価格変動(価格変動リスク・信用リスク、ハイ・イールド債券への投資リスク)」、「為替変動リスク」、「カン
トリー・リスク」、「その他(流動性リスク)」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ファンドの基準価額は、米ドル建てで表示されます。したがって、日本円により投資が行われる場合、各コースの基
準価額の円貨相当額は、日本円および米ドル間の外国為替レートの変動により影響を受けることがあります。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入は、口数でのみお申込みいただけます。 購入時手数料の額は、購入口数に応じて、次に掲げる率を乗じて得た額とします。
	購入時の申込口数
	5,000 口未満
	5,000 口以上 5 万口未満
	5 万口以上 10 万口未満
	10 万口以上
換金(買戻し)手数料	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
管理報酬等	ファンドの資産から支払われる総報酬は、純資産総額の年率 1.135%程度(注) および年 間 10,000 米ドルです。 (注) 管理事務代行報酬に最低報酬金額が設定されているため、各コースの純資産総額 の合計額によっては、年率 1.135%程度を上回ることがあります。
投資対象ファンドの報酬	年率 0.71%程度
実質的な管理報酬等	年率 1.845%程度(注) および年間 10,000 米ドル (注) 各コースの純資産総額の合計額によっては、年率 1.845%程度を 上回ることがあります。
その他の費用・ 手数料	ファンドは、弁護士報酬、監査人報酬、印刷費用等の直接の運営のコストおよび費用を負 担する場合があります。 ※「その他の費用・手数料」については、ファンドが負担することにより、投資者の皆様が 間接的にご負担いただくことになります。これらの費用については、運用状況等により変 動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※これらの詳細につきましては、請求目論見書の該当箇所をご参照ください。



〈販売会社〉

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本STO協会

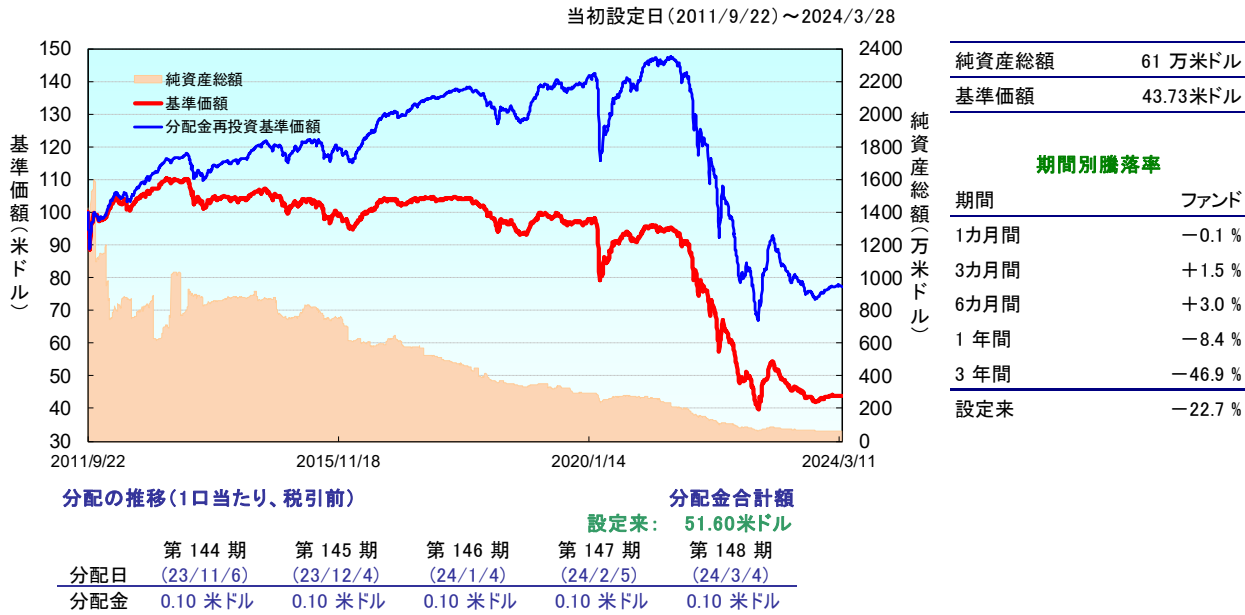
設定は…

ダイワ・アセット・マネジメント・
サービス・リミテッド(ケイマン)

運用は…

ダイワ・アセット・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッド

基準価額・純資産の推移



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、管理報酬等は控除しています。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※分配金は、分配方針に基づいて管理会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

債券ポートフォリオの概況(2024年2月末)

ポートフォリオ特性

最終利回り	8.9%
修正デュレーション	2.6(年)
組入銘柄数	74

種別構成比

外国債券	96.0%
現金等	4.0%

組入上位5銘柄

発行体	利率(%)	償還日	比率
Melco Resorts Finance Ltd	5.375	2029/12/04	3.5%
Bank of Communications Co Ltd ^{^^}	3.8	2025/11/18	3.3%
Industrial & Commercial Bank of China Ltd ^{^^}	3.2	2026/09/24	3.1%
HDFC Bank Ltd ^{^^}	3.7	2026/08/25	2.9%
Studio City Finance Ltd	6.5	2028/01/15	2.6%

業種別構成

業種名	比率
銀行・証券	29.1%
レジャー	18.5%
公益	13.0%
素材	7.5%
エネルギー	6.9%
輸送	3.4%
不動産	3.4%
その他金融	3.3%
その他	2.6%
通信	2.4%
資本財	2.2%
その他産業	2.2%
保険	1.8%
自動車	1.7%
サービス	0.9%
消費財	0.9%
テクノロジー及び電子機器	0.2%

格付別組入比率

格付	比率
A-	1.8%
BBB+	0.0%
BBB	0.0%
BBB-	5.2%
BB+	14.6%
BB	21.8%
BB-	30.9%
B+	14.2%
B	1.4%
B-	0.0%
CCC+	2.3%
CCC	0.0%
CCC-	1.7%
CC+	0.0%
CC	0.0%
CC-	0.0%
C+	0.0%
C	0.0%
D	0.9%
無格付	5.1%

※償還日については、初回コール日を表示。発行体の^{^^}は永久債。

※上記は債券ポートフォリオにおけるもので、前月末時点のものです。

※修正デュレーション、最終利回りは、債券ポートフォリオにおける加重平均です。

※格付別構成はS&Pを優先、無い場合はMoody'sもしくはFitchのうち低い方の格付けを基に算出しています。

※格付別組入比率、業種別構成、ポートフォリオ特性、組入上位5銘柄はフィデリティ(FIL・インベストメント・マネジメント(香港)・リミテッド)のデータを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。※業種別構成および業種名は、フィデリティの定義に基づきます。

＜投資環境＞ （債券市況）

アジア・ハイ・イールド債券市場は、中国の全人代を経て、政策期待が高まったことなどから上昇しました。中国では、「全人代」で示された2024年の5%前後の成長目標などが好感され、今後の景気刺激策期待や投資家心理の改善につながりました。一方で、国防予算の増加や共産党への権力集中などは、地政学リスクを高める潜在的な懸念につながりました。インドでは、2023年10－12月期のGDP成長率が、前年同期比+8.4%と、市場予想を大幅に上回り、投資家心理を下支えしました。2月の消費者物価指数は、前年比+5.09%となり、目標値の範囲内（4%±2%）の水準となりました。インドネシアでは、2月の消費者物価指数は、前年比+2.75%と落ち着いた水準を維持し、インドネシア中央銀行は、政策金利を市場予想通り、据え置きました。中銀総裁は、この決定はインドネシア・ルピアの安定を維持し、インフレを抑制するための努力に沿ったものであるとの見解を示しました。

セクター別リターンをみると、多くのセクターが堅調に推移しました。マカオのレジャーセクターやパキスタンの公益セクターが堅調だった一方、インドの素材セクターや中国のエネルギーセクターが軟調に推移しました。

＜運用概況＞

中国経済には力強さがみられず、景気刺激策への期待が継続しています。米中関係や地政学リスクも不確実性として意識されることから、ポートフォリオの流動性を確保し、相対価値を考慮したリスク調整を行いました。足元では、景気に対する中国政府の柔軟な政策姿勢は好感され、米国景気の底堅さや緩和方向への金融政策期待が投資家心理を支えています。世界的な地政学リスクの拡大や米金融政策動向の不確実性もあり、引き続きボラティリティは高まりやすく、その変化や市場流動性を注視しています。

＜今後の市場見通しおよび運用方針＞

アジア地域の地政学リスクの高まりは、アジア・ハイ・イールド債券市場のボラティリティ要因のひとつにもなることから、注視が必要です。一方で、中長期的な視点では、潜在的な持続的アジア経済の成長期待を背景に、アジア企業の信用ファンダメンタルズの改善期待は底堅く、同市場の支援材料のひとつであると考えています。同市場は、他の地域と比較しデュレーションが短い資産クラスであり、相対的に金利変動の影響を受けにくいと考えられます。アジア各国は、引き続き中長期的な構造改革のプロセスにあると認識しています。

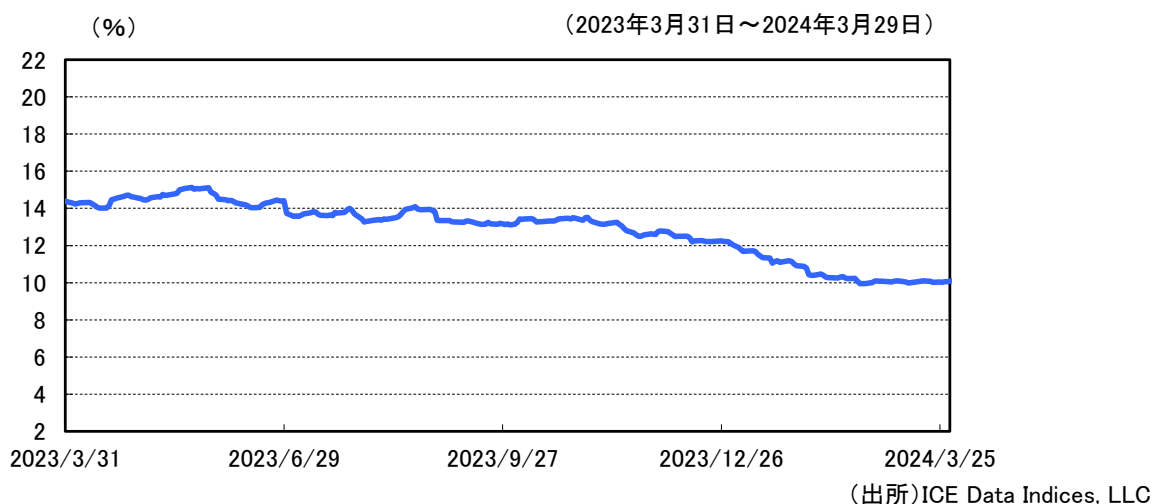
中国は、経済の成長の質を重視する姿勢であり、中長期的には国内経済の安定化につながると期待されます。不動産市場や景気減速懸念などを意識し、緩和方向への政策変更がみられます。権力集中、米中関係、不動産市場の低迷が足かせとなりながらも、個人消費の回復期待は、潜在的な景気回復期待要因となっています。中国政府は国内の景気動向を考慮し、柔軟な政策対応をとっており、投資家心理の安定につながるものとみています。インドでは、政府の物価や経済環境に配慮した対応などに支えられ、中長期的には、相対的に底堅い成長期待の余地があると想定されます。インドネシアでは、景気下支えを重視した金融政策姿勢、インフラ関連事業や外資誘致などの規制緩和が、中長期的な景気の下支え要因につながると期待されます。

アジア・ハイ・イールド債券市場全体のデフォルト率は、高止まり傾向が続いています。一方で、発行体によっては、債務再編などのリストラクチャリングを伴いデフォルトする場合もあり、その中には将来的な回復が期待される企業も含まれます。したがって、ファンドではその都度保有継続もしくは売却の判断を行います。また、個別銘柄選別の重要性が一層高まると考えており、企業業績や信用状況、コーポレートアクション（株式、債券などの有価証券価値に影響を与える企業の財務活動）の可能性や調達コストの動向、コーポレート・ガバナンス（企業統治）のあり方等に注意を払います。インカム収入も主なリターンの源泉であることから、リスクとの兼ね合いを慎重に精査しながら、インカムにも着目した銘柄選択を行います。当ファンドは、流動性リスクの適切な管理にも注力し、中長期的に安定的な高水準の金利収入と値上がり益を追求する運用を行っていく方針です。

※上記のコメントは、当ファンドにおける組入ファンドの運用会社であるフィデリティ（FIL・インベストメント・マネジメント（香港）・リミテッド）のコメントを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

※ファンドマネージャーのコメントについては、現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

【アジア・ハイ・イールド債券の利回りの推移】



※アジア・ハイ・イールド債券の利回りは、ICE BofA Blended Index: ACCY, 20% Lvl4 Cap 3% Constrainedのデータを使用しています。

SOURCE ICE DATA INDICES, LLC ("ICE DATA"), IS USED WITH PERMISSION. ICE® IS A REGISTERED TRADEMARK OF ICE DATA OR ITS AFFILIATES AND BOFA® IS A REGISTERED TRADEMARK OF BANK OF AMERICA CORPORATION LICENSED BY BANK OF AMERICA CORPORATION AND ITS AFFILIATES ("BOFA") AND MAY NOT BE USED WITHOUT BOFA'S PRIOR WRITTEN APPROVAL. ICE DATA, ITS AFFILIATES AND THEIR RESPECTIVE THIRD PARTY SUPPLIERS DISCLAIM ANY AND ALL WARRANTIES AND REPRESENTATIONS, EXPRESS AND/OR IMPLIED, INCLUDING ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE, INCLUDING THE INDICES, INDEX DATA AND ANY DATA INCLUDED IN, RELATED TO, OR DERIVED THEREFROM. NEITHER ICE DATA, ITS AFFILIATES NOR THEIR RESPECTIVE THIRD PARTY SUPPLIERS SHALL BE SUBJECT TO ANY DAMAGES OR LIABILITY WITH RESPECT TO THE ADEQUACY, ACCURACY, TIMELINESS OR COMPLETENESS OF THE INDICES OR THE INDEX DATA OR ANY COMPONENT THEREOF, AND THE INDICES AND INDEX DATA AND ALL COMPONENTS THEREOF ARE PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS AND YOUR USE IS AT YOUR OWN RISK. ICE DATA, ITS AFFILIATES AND THEIR RESPECTIVE THIRD PARTY SUPPLIERS DO NOT SPONSOR, ENDORSE, OR RECOMMEND DAIWA ASSET MANAGEMENT CO. LTD., OR ANY OF ITS PRODUCTS OR SERVICES.

「ICE®」は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社の登録商標です。「BOFA®」は、Bank of America Corporationとその関連会社である「BOFA」の登録商標であり、BOFAの書面による事前承認なしに使用することはできません。ICEデータ、その関連会社またはその第三者供給元は、指数、指数値およびそれに含まれる、関連するまたはそこから得られる情報（「インデックスデータ」）を含む、特定の目的または用途に対する商品性または適合性の保証を含め、明示的及びまたは黙示的なすべての保証及び表明を否認します。ICEデータ、その関連会社またはその第三者供給元は、指数および指数値の妥当性、正確性、適時性または完全性に関して、いかなる損害または責任も負わないものとし、これらは「現状のまま」提供され、使用者は自己の責任で使用するものとします。ICEデータ、その関連会社またはその第三者供給元は、大和アセットマネジメント株式会社またはそのいずれの製品・サービスをスポンサー、保証または販売促進していません。

[収益分配金に関する留意事項]

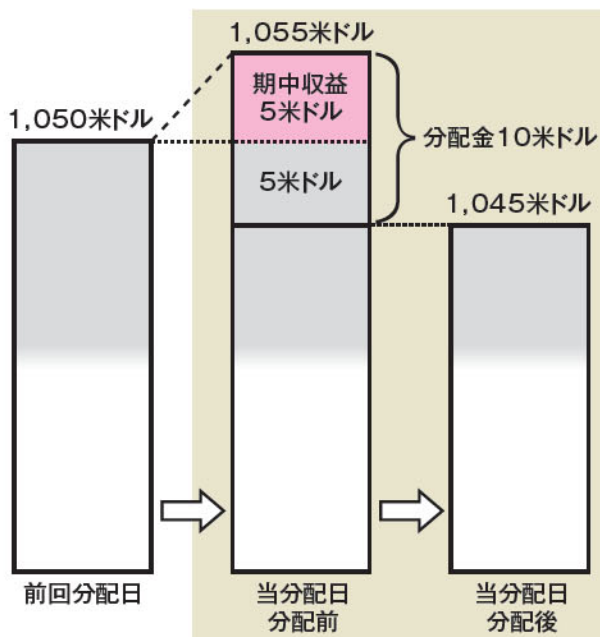
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



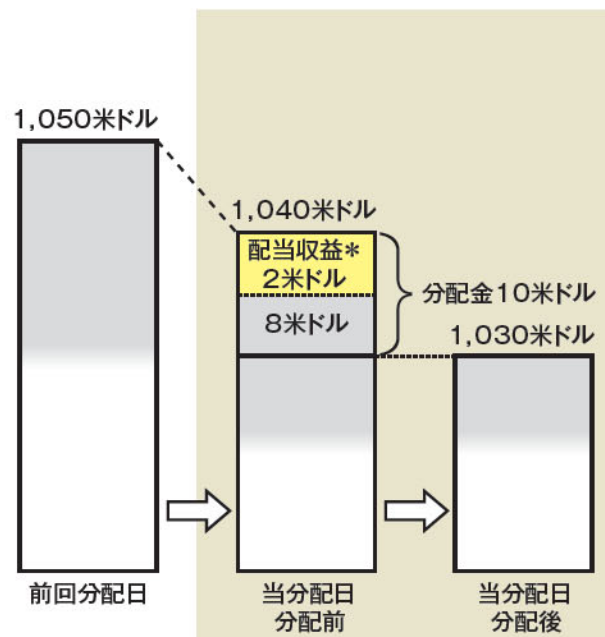
- 分配金は、分配計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります。その場合、当分配日の基準価額は前回分配日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも分配計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合（基準価額が米ドル表示の場合）

（前回分配日から基準価額が上昇した場合）



（前回分配日から基準価額が下落した場合）

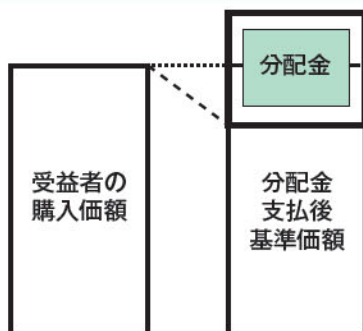


*「配当収益」には、為替取引によるプレミアムを含みます。

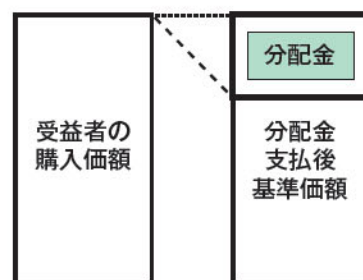
※ 上図表はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。分配金は、ファンドごとに、その分配方針に基づき支払われます。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には投資元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

（分配金の一部が購入価額を下回った場合）



（分配金の全部が購入価額を下回った場合）

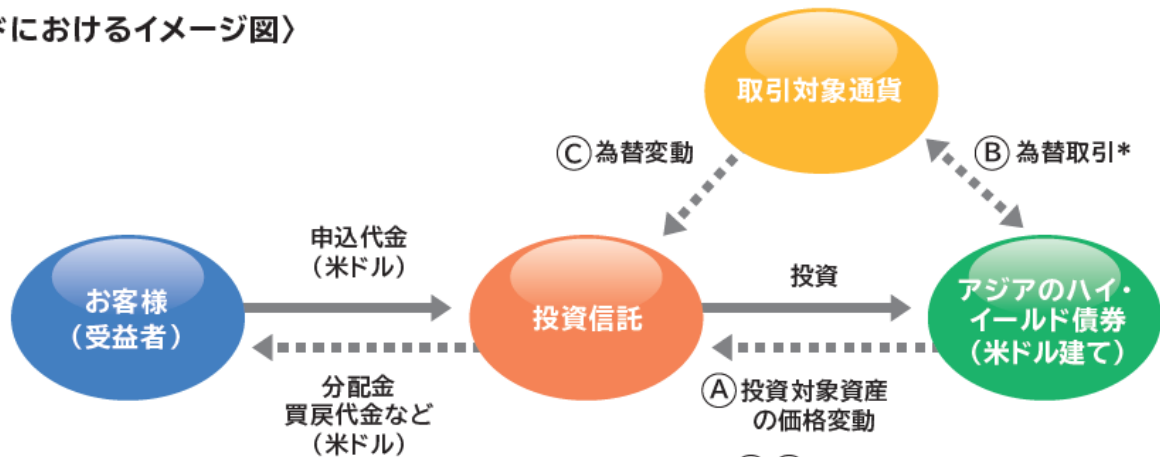


※ 公募外国株式投資信託は、公募国内株式投資信託の取扱いと異なり、購入価額を下回る部分についても、分配金に対して課税されます。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

●通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

〈ファンドにおけるイメージ図〉



※(B)(C)については、「米ドル・コース」は該当しません。

*ブラジル・レアル・ヘッジコースおよび豪ドル・ヘッジコースは、取引対象通貨の対米ドルでの為替リスクが発生することに留意が必要です。

●ファンドにおける収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

収益の源泉	(A) (注) (B) (C)		
	アジアのハイ・イールド債券の 利子収入、値上がり／値下がり	為替取引による プレミアム／コスト (金利差相当分の収益／費用)	為替差益／差損
収益を得られる ケース	・金利の下落 債券価格の上昇	取引対象通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利 プレミアム (金利差相当分の収益)の発生	・米ドルに対して取引対象通貨高 為替差益の発生
損失やコストが発生する ケース	債券価格の下落 ・金利の上昇 ・発行体の信用状況の悪化	取引対象通貨の短期金利 < 米ドルの短期金利 コスト (金利差相当分の費用)の発生	・米ドルに対して取引対象通貨安 為替差損の発生
		※「米ドル・コース」を除きます。	※「米ドル・コース」を除きます。

(注) 為替取引に関する規制が多い新興国通貨の場合、為替取引を行う際にNDF取引を利用する場合があります。

NDF取引を用いて為替取引を行う場合、プレミアム／コストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上図表はイメージ図であり、投資成果を示唆または保証するものではありません。